

令和5年度第4回全史料協大会・研修委員会 会議録（概要）

日 時：令和6年2月16日（金） 13時30分～17時

会 場：徳島県立文書館 2階 講座室

開催方法：ハイブリッド方式（対面＋オンライン）

対面出席者：金原委員長、事務局（嵐・徳野・関）、新井委員、大月委員、
加藤委員、蓮沼委員、長谷川副委員長（五十音順）

オンライン出席者：庄子委員、藤委員、西木委員、吉田委員（五十音順）

欠席者：三宮委員

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 協議事項

(1)第49回全国（東京）大会の総括について

- ・各委員や運営関係者より事前に提出された反省や、アンケート集計結果をもとに改めて協議し、東京大会の問題点と、仙台大会に向けての改善点について確認した。

(2)令和5年度事業報告・決算見込について

- ・事業報告に令和5年10月31日に開催したオンラインによる臨時委員会が含まれていないことや年表記の誤りがあり、修正について承認された。
- ・決算見込については、今後支払いが完了する案件も控えているため、すべてが完了した後に改めて示すことを確認した。

(3)令和6年度事業計画・予算案について

- ・第1回委員会の開催時期について指摘があり、修正について承認された。

(4)第50回全国（仙台）大会について

- ・大会会場、交流会会場の予約状況、バスの借上げや配信の委託などの業者の選定について、仙台市公文書館から事前に報告があった情報をもとに確認。
- ・長谷川副委員長より、仙台大会は東京大会と同様4か所の施設見学を設けること、研修会をかつての複線型に戻し、「入門」と「応用」、「公文書」と「地域資料」の4つの内容とすること、運営スタッフの人員確保の問題や、現地へ訪れる参加者が減少することなどから、開催方式は対面のみとし、オンラインはライブ配信ではなく、後日のYouTube配信のみとすることが案として示され、承認された。これらにより、会場内で使用する部屋の変更が必要になるため、今後事務局が会場と交渉を進めることが確認された。

- ・また、研修会Aの会場移動の方法や、研修会B～Eの報告者の人選、50回記念特別講演会の実施方法についても協議した。
- ・大会テーマ研究会案について、蓮沼委員より「機関としてのアーカイブズの多様性」、「東北のアーカイブズの現在地」をテーマにする提案がなされた。
- ・また、蓮沼委員よりテーマ研究会報告者の人選や交渉の進捗状況が示され、出席委員からも意見が多く出された。それらをもとに、さらに交渉を進めることが確認された。

(5)今後の全史料協大会・研修委員会の運営について(負担軽減案の提示)

- ・会長ステートメントや事務局の今年度の運営経験をもとに、次年度を含めた今後の大会・研修委員会の組織運営、また全国大会の運営方法について事務局より変更案を示し、親会での協議にかけることを承認された。

(6)令和6年度委員会体制案について

- ・長谷川副委員長より今年度で退任される委員が紹介され、同時に次年度の大会・研修委員会の委員配置について説明があった。今後、委員の候補者を挙げ、就任への交渉を進めることを確認した。
- ・退任される委員より挨拶があった。

4. その他

特になし

5. 閉会